

(公財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

さて、今回は2月13日発行のニュースリリース特別号以降の動きについてご報告いたします。

1. 3月3日 PHI 設立シンポジウムが開催されました。

PHI 設立シンポジウムは予定通り、3月3日（日）午後、日比谷図書文化館にて、会場参加約140名、WEB参加約100名を集めて開催されました。多くの皆様のご参加ありがとうございました。当日は、2月13日にJAH1とプラネタリーヘルス・パートナーシップ協定を締結した鳥取県江府町の白石祐治町長（写真左から3人目）を壇上に迎え、JAH1・今西会長（左から4人目）と固い握手を交わして頂いたのを始め、第1部 PHI・桐村里紗代表（左から2人目）による基調講演「プラネタリーヘルスと世界における日本の役割～日本最小の町・江府町から世界へ」、続いて、農地の生物的豊かさの評価の第一人者・横山和成講師（立正大学地球環境科学部特任教授：右から3人目）による特別講演「微生物が奏でるシンフォニー」がありました。

なお、白石町長のご挨拶のバックでは、江府町制70周年を記念して制作された町の紹介ビデオが流れ、また17歳の地元シンガー・マルちゃんが「PHIテーマソング」（桐村代表作詞・桐村一平氏アレンジ）を弾き語りしてくれました。

さらに、大変ユニークな試みである土壌微生物の量と多様性を、妙なる音の繋がりによって表現された横山講師による実験も、幸い上手く再現されました。

第2部はパネルディスカッション「プラネタリーヘルス・アクション宣言」として、第1部の講師に加え、がん患者と向き合いながら医療と食事療法を実践し、腸内細菌にも深い知見を持たれている田中善先生

（医療法人仁善会田中クリニック院長：右から2人目）、JAH1野菜で健康推進部会の丹羽真清部会長（右端）が、地球環境と人の営みに関する碩学・佐藤洋一郎先生（京都府立大学客員教授/ふじのくに地球環境史ミュージアム館長：左端）の巧みなファシリテーションによって、今後期待されるプラネタリーヘルスの社会実装について活発なディスカッションが進みました。

第2部の最後では、桐村代表が10か条からなる「プラネタリーヘルス・アクション宣言」を高らかに読み上げられました。

第3部は会場を近くの東京ミッドタウン日比谷の上層レストランに移し、医療・食品・土壌等、多分野から参集された100名近いリアル参加者が名刺交換等、交流・懇親を深められ、さらに、講師クラスの参加者の方々が次々に小スピーチに立たれて、今後のプラネタリーヘルス推進に対する期待や抱負を共有して頂きました。



2. その他

(1) JAH1は3月19日（火）、公益認定等委員会から「法人の運営組織及び事業活動の状況」に関する初の立入検査を受けます。

(2) JAH1の姉妹団体である一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会（池野隆光会長）はこのほど設立25周年を迎えられ、3月7日（木）、都内で祝賀パーティーを開催されました。誠にありがとうございます。